

中部のエンゲージメント戦略

< 4 >

ゴキブリ駆除剤「ゴキブリキャップ」を中心に各種害虫駆除剤を製造販売するタニサケ(本社岐阜県池田町片山29957の1、清水勝己社長)は、「社員中心主義」を社是に掲げ、ユニークな福利厚生で社員の求心力や団結力を高めている。年に1回、「親孝行手当」「家族感謝手当」を支給するほか、「ありがとうカード」などでは、書いた人、もらった人双方に図書券や商品券を贈る。コロナ禍で3年間中止していた、費用全額を会社が負担する社員旅行も今年、再開した。

(西濃・春田昭継)

タニサケ 求心力や団結力高める

同社の福利厚生制度は「出社することが楽しい」と考える会社をつくりたい」と考えた創業者の松岡浩相談役が20年以上前に創設した。

親孝行手当、家族感謝手当は毎年3月、各1万円を全社員に支給しており、社員は手当を元に4月に親、5月に家族にプレゼントを贈ったり、外食費用に充てたりしている。社員の手当の使い道や親、家族への思いは翌月の社内報で紹介する。カード制度は、ありがたいねカードのほか、「いいねカード」「バースデーカード」がある。ありがとうカードは、仕事を手伝ってもらった時、感謝の気持ちを、いいねカードは良い行いを見かけた時などに相手に送る。バースデーカードは誕生日に合わせてお祝いのメッセージを贈る。全てのカードは社内に掲示され、書いた人、もらった人とも一枚100

親孝行手当などユニークな福利厚生充実



円でカウントし、一定の枚数に達すると図書券や商品券に社員から寄せられたカードなどを掲示するボードの前に立つ清水社長

社是は「社員中心主義」

交換できる。カードの集計などの運営は「社風委員会」が担当。同委員会は年に数回、



「親孝行手当」を特集した社内報と三つのカード

全社員が昼食をとるにも使える「お楽しみ会」なども企画する。今年3月には桜の下での食事を楽しんだ。

社員旅行も再開した。以前は3泊4日で中国やアジアなどを訪問していたが、近年は1泊2日の国内旅行が中心で、今年には金沢市を訪れた。

清水社長は「コロナ禍でできなかったことができるよっになってきた。社員が和気あいあいと交流する場はとても重要。そうした機会をさらにつくっていききたい」と話す。

同社は改善提案活動も盛んで、社員1人当たりの件数では日本トップレベルという。こうしたさまざまな取り組みが評価され、昨年には「日本いちばん大切にしたい会社」一大賞の審査委員会特別賞を受賞した。

(毎週火曜日に掲載)